



# ひこうきぐも

特定非営利活動法人 色 就労支援センター そらいろ  
 (就労移行支援事業・就労定着支援事業)

Vol.08  
 2021. 春

2021 年度もどうぞよろしくお願い致します。

所長 池田 克之

そらいろはこの4月で11年目になります。あっという間に感じます。今日の日を迎えているのは、多くの皆さまの応援のおかげです。本当にありがとうございます。

私たちは、「働く応援」を通じて、目の前にいる利用者さんが日々の暮らしの中で楽しみややりがいと出会い、充実した毎日過ごすことを目標に共に歩いていきたいと思っています。私たちができることはほんのささやかなことではありますが、精一杯取り組んでいきたいと思っています。

今年度は、初心に帰り、基本的なことを大切にしたいと思っています。コロナ禍で「人と人との関係が希薄になってきている」と話をきくところもありますので、私としましては、丁寧な挨拶を心がけ、少しでも利用者の皆さまが気分よく来所してもらいたいと思っています。

最近、こんな文章と出会いました。「俺にとって本当に一目置かなければならない相手は、全勝に近い人じゃなくて相撲の相手でいうと9勝6敗の星をいつも上げている人なんだ。これも、そのときたまたま9勝6敗が続いている人じゃなくて、口にだしたりなんかしないけれども、はっきり、9勝6敗くらいの維持を目標にしてやっている人だ。」(色川武大「うらおもて人生録」より)。

こんな心持ちで毎日を過ごしていきたいと思っています。うまくいくことばかりを望まず、焦ることなくうまくいかないことから少しでも学び、今後に活かしていけるような柔軟な心持ちを意識したいと思っています。

今年度も、「そらいろの理念」を大切に毎日を過ごしていきたいと思っています。皆さま、どうぞよろしくお願い致します。



## ◆profile◆

いけだ かつゆき  
 池田 克之

特定非営利活動法人 色  
 就労支援センターそらいろ 所長  
 精神保健福祉士

## そらいろの理念

- 1、可能性を信じ、チャレンジする
- 2、「働くべき」から「働きたい」へ
- 3、いろんな個性でいろんな才能を  
 いろんな役割によっていろんな生き方へ
- 4、過去より今、内より外、一人より人にあう

# 就職おめでとう!

今回は4名の方に就職され働いている状況についての感想文を書いていただきました。みなさんそれぞれの場所で頑張っておられる姿はメンバーさんや私たちを勇気づけてくれます。

## 『チューニング』



### h.taroさん

作業服に刺繍を施すお仕事をされています。

私は昨年9月に就労しました。

作業服にバルダンという6頭の機械で刺繍を施す補助の仕事です。定規や下敷きなど色々な道具を使い、一定の位置に刺繍をするために作業着に線を引いたりドットを打ったりしています。今では機械の動かし方を教わって少し刺繍をさせてもらっています。



例え少しでも、うまくいかなかったことが出来るようになる瞬間は気持ちの良いものです。失敗だけにフォーカスを当て過ぎて、成長を蔑ろにすることは勿体無いと思います。

それでも、毎日の通勤路、「今日もうまくいかなかったなあ」という擦り傷に、「でもこの作業はうまくいったぞ」という絆創膏を貼っては剥がしを繰り返し、実践を通して「より良い」を追求しています。考え方の偏りを実感したとき、なるべくニュートラルに気持ちをチューニングすることで、明日も頑張れます。私に関わった全ての人に感謝をして責任感を大切に過ごしていきたいです。

### K.Kさん

大学構内で清掃のお仕事をされています。

## 『こころの虹』

就職して、3ヶ月。“職種は？”と問われても、心の中で“恥ずかしい仕事をしています”と下を向く。

黙々とひとり、トイレ清掃を！！

迷いながらの毎日、しかし、私の心は毎日が楽しい。誰もが、したがるに違いないであろう、と思う仕事である。私は嫌な仕事と思わない。「ありがとう」と、心の中で思う。そして、トイレと向き合う。私が一心不乱にトイレを磨く。ご褒美があります。そこに虹があるのです。そんな毎日に、神様の様な方がトイレを美しくする方法をアドバイスして下さる。今、コロナ禍であり、リスクを抱えながら、私は今“何故、その仕事を辞めないのか？”と問われると、伏目がちに、でも、しっかりと前を向き“トイレをピカピカにしたいから、ただ、それだけ”と答えたい。そっと、私に声をかけてくださる人がいる。

“トイレと一緒に魂をみがきなさい”と。



## 『三度目の正直』

昨年12月、宿泊業の仕事に就くことが出来ました。仕事の内容は客室の清掃で、そらいろからの3度目の就職です。決め手は、以前に同じような職種を経験したことがあったからです。職場では、先輩方が丁寧に仕事を教えて下さり、またそらいろの担当スタッフの方が職場に同行して、手順書を作成して下さったりと色々な方々のお力をお借りして支えて頂いています。もう就職は出来ないかと不安や焦りで一杯でしたが、何度でも自分の可能性を信じてチャレンジ出来ることを実感しました。



今現在、コロナ禍の状態にあり、仕事が休業中に入っていますが、だからこそ今のこの時期、就職できた喜びをひしひしと感じています。一日も早いコロナの収束を願い、またいつでも仕事に戻れるように準備しておこうと思っています。これからは継続して仕事が続けられる様に、少しずつ「小さな出来た」を積み重ねて、自信につなげていきたいです。皆さんにも良いご縁がありますように・・・あると信じています。

### Jさん

温泉ホテルでおもてなしのお仕事をされています。

## 『そらいろに感謝を込めて』



2月に、就職してそらいろを卒業しました。久しぶりの実社会は、すごく緊張しますが、思っていたよりも会社の皆さんがあたたかく優しく受け入れてくださって、感謝しています。そらいろの皆さんの後押しが無ければ、私は今ここに就職していなかったと思います。そらいろでの優しいあたたかい日々があったから、私は心が回復し社会に踏み出す勇気が持てたのです。そらいろで出会った皆さん、職員の皆さんに心から感謝しています。

### NTさん

パン工場で庶務のお仕事をされています。

実際、働くことは、シビアに効率を求められたりもしますし、指示がぼんぼん飛んできて面食らうこともあります。でも、私は毎日を、加点方式で自己肯定感を高める努力をして過ごしています。朝、寝坊しないで起きられた+50点（←寝坊しないで起きられるの、すごい大事です！）、遅刻せずに出社できた+20点、午前中の業務が滞りなくできた+30点、午後からの業務も無事に終えられた+30点、今日も良く頑張った！+50点、合計180点、というふうに、上限がないのでどんどんプラスされていって、心の中で今日は200点超えてるぞーなどと思いながら働いていると頑張ってる自分偉い！と褒めてあげたくなります。週末には、今週も本当に良く頑張ったなあと思います。これからも、障害のある私を受け入れてくださった会社に少しでも貢献できるように、頑張って働いていきたいと思っています。



緊急事態宣言下で毎日そらいろに通っています。食事のときは人と話さないようにし、手洗いや消毒に励んでいます。免疫力が落ちないように睡眠も良くとるようにしています。

もしそらいろが閉所になっていたら、気持ちも辛いし、生活スタイルも崩れてしまうと思うので、そらいろが何とか開所するように工夫して下さって本当に感謝しています。

所長さんが緊急事態宣言下で不安なことを聞いて下さり、そらいろの職員さんは本当にきめ細かい配慮をして下さることに感謝していますし、信頼して相談もしやすいです。

私はパソコンの自習をすることが多かったので、コロナでそらいろが借りたマンションの一室にパソコンを持って移動する日も多かったです。冬の寒い日は重たいノートパソコンを持って移動するのが実はしんどかったです。

担当の職員さんが、私の気質や傾向を良く観察して下さい、決して焦ることなくひとつずつの目標を提示して頂いたことも助かりました。一度にいろいろ提示されると不安でパニックになってしまいましたが、担当の職員さんは地道に無理のないステップをひとつずつ、階段を登るように提案して頂いており助かっています。特に求人票の見方のコツの教えが大変頼りになっております。

コロナ禍でも利用者さんが就職が決まって卒業されていき、めでたい限りです。

この閉塞した空気の中就職が決まった利用者さんの笑顔が私の唯一の希望です。

私もいつになるか分かりませんが、そんな卒業生の皆さんのひとりになることが目標です。

### 緊急事態宣言



♡ C.M. ♡

当事業所は、新型コロナウイルス感染防止対策として、次の取組を推進します



- ・ 社会的距離を確保した座席の配置
- ・ 対面機会をできるだけ避ける、対面する場所にアクリルシールド板を設置
- ・ 従業員及び利用者のマスク着用、手洗い（手指消毒）
- ・ 従業員と利用者の体調管理、風邪症状がある場合  
（京都市感染防止ガイドラインの対応）
- ・ 机、椅子、テーブル、利用設備・機材等の消毒
- ・ ドアや窓の開閉による換気
- ・ 消毒液の設置、ごみ廃棄時の衛生管理





私は、コロナ禍の中、1月に父を亡くし心が不安定なとき友達や周りの人が支えてくれて本当に助かりました。

しかし反対に私は友達を信じていなかった気持ちにも気づきました。本当に私と遊びに行っても楽しいのだろうか？と疑い、付き合っていたことに。

しかし、それは私の思い込みだったと。私は嫌われるのが怖いと思いながら付き合っていました、それは間違いで、気にせずそのままの自分で付き合っ

たらいいのだと。そう思ったときから家族との関係も少しずつ変化が出てきました。

やっぱり人と関わることで気持ちも変わってくるのだと。怖がっていたら安心ですが何も変わらないし楽しいことも起こりません。

これからは人と過ごす時間を大事に楽しんでいきたいなと思っています。



♥ Midori ♥

## 新スタッフ紹介



新しくスタッフになりました荻原雅子です。

「そらいろ」で働いて4カ月が過ぎようとしています。

毎日新しいことの連続であり、利用者さんやスタッフの方々に助けられて（しばしば大目に見ていただいて）います。

10代、20代のころは想像もなかった仕事を30代で経験し、40代は30代のとき考えつかなかった仕事をしていました。50代になった今、すべての経験は「ここ」につながっていたと思うと「そらいろ」にいる自分自身にほくそ笑んでしまいます。

楽しかったことも悔しかったことも、報われないと思った日々も評価された喜びも、時を経て全てが自分を形づくる力になるとしたら、働くって興味深い。

わたしにとって働くことは生きること。利用者さんと過ごす全ての時間を通して、利用者さんと共によりよく生きたいと願っています。どうぞよろしく願いいたします。

## ◆◆見学会のお知らせ◆◆

『働きたいから、就職活動のサポートをしてほしい』  
『就労移行支援事業所って、どんなサポートをしてくれるの？』

と思っておられる方に、見学会を開催しています。  
見学するだけでも、もちろんOKです。

まずは、そらいろまでお問い合わせください☆

■今後の予定

5月12日(水) 15:30~

6月9日(水) 15:30~



賛助会員の皆様（敬称略・順不同）

・中田真理子

【4名（掲載辞退3名）】

（令和2年10月～令和3年3月）

ありがとうございました。



## 編集後記

今回も多くの方のご協力により「ひこうきぐも」を発行することができました。コロナ禍でそらいろの活動も影響を受けていますが、皆さんがそれぞれにコロナに負けない気持ちを持って、知恵を出し合い工夫をしながら日々を過ごしています。そんな中での就職の報告は大きな励ましとなりました。新しいスタッフも迎え、利用者さんたちと共にこのコロナという困難を乗り越えていきたいと思っています。今年度もどうぞよろしく願いいたします。

（スタッフ 人見琢也）

特定非営利活動法人 色  
就労支援センター そらいろ

（就労移行支援事業・就労定着支援事業）

〒604-8805 京都市中京区壬生馬場町 11-5

TEL&FAX : (075)841-5111

E-mail : sorairokyoto@gmail.com

U R L : <http://sorairo-k.iimdofree.com>

